

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

坂井市立東十郷小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

・「家庭・地域・学校協議会」は次の11名により構成する。

◎地域代表(4)

東十郷コミュニティセンター長、主任児童委員、有識者(2名)

◎家庭代表(4)

PTA会長、副会長

◎学校代表(3)

校長、教頭、教務主任

※地域コーディネーター(2)

東十郷コミュニティセンター長
社会教育指導員

(2) 協議会の内容

開催回数 2回

開催日程 第一回 6月26日

第二回 2月28日

協議内容

- ・学校の現状と課題について
- ・地域の人材の確保と活用について
- ・地域行事への参加について
- ・学校の現状と

(3) 協議会における成果と課題



年度当初に、読み聞かせボランティアを充実させ児童の読書活動推進をあげたが、昨年度より3名の読み聞かせボランティアが増え毎月一回の読み聞かせ活動を実施することができた。

また、野菜やコメ作り、へちまの栽培などを、高校生や地域の方と一緒にすることができた。とくに昨年度は実施できなかった、隣接する坂井高校と再度協力して事業を行えたことは良かった。

さらには、これまでも地域の行事への参加が少ないという指摘を受けて、コミュニティセンターと協力したプログラミング教室の開催や、PTAと協力した「さかい夏祭り」での出店など、新たな事業を興すこともできた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の課題等を改善する体験活動を、児童が自ら考え工夫しながら実践していくことを通して自分たちが住むまちやふるさと福井に誇りや愛着を持ち、未来に向かって歩んでいこうとする意欲を育てる。また、地域コーディネーターや地域の方からの協力を得ながら活動を進めていくことを通して、人と人とのつながりの大切さを実感させ、温かい人間関係を築こうとする心情を育てる。

(2) 活動の実際

①農業体験(2・5年生)

(様式3)

坂井町は農業が盛んな地域であり、自分たちにとって身近な稲作や野菜作りを通し農業について考えるには地元の方に教えていただき実体験することが良いと考えた。稲作の指導は、坂井高校の農業



科の先生と生徒を招き、野菜作りの指導は地域の農家の方々を招いて、米作りや野菜作りを体験し苦労や収穫の喜びを味わうことを行った。また、2年生では収穫した野菜をおでんにして、農家の方と一緒に食べる機会も設けた。

②先人の知恵を学ぼう（全学年）、市文化祭等への参加（3～6年）

本校では以前からお茶や生け花などの作法について、地域のお年寄りの方々から指導していただいていた。さらに今年はそうした地域の人から教えているいろいろな活動を拡充させた。読み聞かせ活動と合わせて地域の伝承民話を教えてもらったり、昔の道具や遊びを教えてもらったり、そろばんなども習ったりした。自分たちが住んでいる地域の昔の様子を知ることができ、さらに地域に興味を持つことができた。また、生け花展やお茶会、ふれあい祭り（コミュニティセンターの祭り）などに参加し、活動の成果を発表するようにもつとめた。

そして今年度は、新たな地域行事への参加として、公民館とタイアップした「プログラミング教室」の開催、PTAと協力した「さかい夏祭り」への出店を行うことができた。とくに、「さかい夏祭り」の出店では、企画や内容についてのアイデアをPTAの担当者に提案して、よりよい企画にすることができた。



(3) 特に工夫した事項

- ・地域コーディネーターと相談する機会を多く持ち、今まで行ってきた活動を見直し、児童の意見を聞きながら実践するようになった。
- ・特定学年だけが活動するのではなく、全学年に広げていけるような活動内容を取り入れたり、全校児童に周知するための掲示物を作成したりした。

3 成果と課題

今年度も東十郷町づくり協議会の協力を得て活動できたことは、児童にとって地域の方々と交流する良い機会となった。また、以前は盛んに交流していた隣接する坂井高校との連携を行えたことは、一歩前進できたように思う。さらに今年度は、コミュニティセンターとの協力や、PTAと協力した事業も行うことができた。今後は、さらに事業内容について吟味、検討を重ねながら全学年で取り組める内容を企画していきたい。